

毎週日曜発行
2020 2/23

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



「持続可能な開発目標 (SDGs)」を聞いたことはありますか？ 2030年までにすべての人々にとってより良い世界をつくるため、世界の国々が15年の国連総会で立てた17の目標。左図のことです。最近よく見る17色の丸いバッジは、そのマークです。

持続可能とは「し続けることができる」という意味です。SDGsは



及川アドバイザーの

ぼうさい 学ぼう防災

35

SDGs 世界共通の17目標

SDGsのロゴマーク
企業や団体も取り組んでいる

虹みたいなマーク！
お父さんのスーツのえりにもバッジが付いていたなあ...

イラスト・多田健一郎

防災・減災も深く関係

私たちにできること ~普段の生活に自然な形で防災を取り入れる~

たとえば...

- ◆ 家族で防災会議を定期的を開く
- ◆ 散歩しながら危ない場所の確認
- ◆ テレビのリモコンの「dボタン」で日頃から情報収集
- ◆ 備蓄食料は食べたら買い足す
- ◆ 地域の人に笑顔であいさつ
- ◆ 地域の祭りや防災訓練に参加
- ◆ 県外や年下の友達などに災害への備え方を伝える

災害に強いまちづくりを

SDGs 世界共通の目標

社会で活躍しているころ。世界や自分の街はどんなになっているでしょう。地球には多くの問題が

む必要があります。一人一人の小さな力も集まれば大きくなります。できることから始めましょ

これまで紹介した「日頃の備え」をきちんとする、地域の防災訓練に参加する、近所の高齢者や小さ

を忘れないでください。(仙台市防災・減災アドバイザー・及川由佳里) 次回は3月29日

人間がずっと地球に住み続けられるよう、みんなが努力して達成する目標です。「30年なんてまだ先」と思いかもしれませんが、10年後は皆さんが

あります。例えば温暖化が進めば、大きな災害が増える恐れがあります。それらを解決し誰もが住みやすい世界にするには、すべての人が取り組

う。目標は「住み続けられるまちづくりを」。災害の被害者が減るよう災害に強いまちづくりを目指し、次の世代にも伝えていくことが大切です。毎月「学ぼう防災」を

読み防災について学ぶ、い子たちと防災の話をするーなど、できることはたくさんあります。もうすぐ東日本大震災から9年。改めて家族で震災の時の話をしてみてください。私たちはあの教訓から、世界の問題を解決する力になれること

きょうの紙面

2

ニコ☆プチ

3

3分チャレンジ

4

5

いいね 小学校

6

英語

7

かほくワークシート

8

英語で探究型学習

今週の注目ニュース

◇24日(月) **ドナルド・キーンさんの一周忌**
三島由紀夫や安部公房らの作品を英語に翻訳し、世界に日本文学を紹介した、アメリカのコロンビア大名誉教授のキーンさんが亡くなってから1年になるんだ。関連の本も出るよ。

◇25日(火) **梅花祭(京都市)**
学問の神様・菅原道真を祭る北野天満宮で開かれる、道真の命日にちなんだ伝統行事なんだ。境内に植えられた約1500本の紅梅や白梅が、春の訪れを教えてくれるよ。